



2024  
農×移住フィールド連続講座  
田んぼの1年生

自分でお米を作りたい！  
将来、小さい田畑で自給したい！  
農業したいけど、まずは試したい！  
ちゃんと習ったことないけど・・・  
初めてでもできるかな？

### 開催地と開催期間

開催地①南丹市日吉町中世木<sup>なかせき</sup>地域

最寄り：JR 山陰線日吉駅

開催期間： 4月～11月

初回開催日： 4月13日（土）



開催地②南丹市園部町<sup>はんた</sup>半田地域

最寄り：JR 山陰線園部駅

開催期間： 4月～12月

初回開催日： 4月7日（日）

### ①②共通事項

定例日：計10回（月1～2回）+自由作業日

定例日開催時間：各回9：30～16：00頃

### 参加費

1人 30,000円/年

または 2人1組 45,000円/年

（10回の定例日参加費、保険料、必要な道具、他込）

※詳細は裏面をご参照ください。

問合せ・申込み

特定非営利活動法人つむぎ

[tsumugi.nantan@gmail.com](mailto:tsumugi.nantan@gmail.com) または



小さい区画の田んぼで、自立してお米作りができるようになるための基礎知識やワザ、地域との関わりなどについて、計10回の実践&学びを通して身につける連続講座です。



## 里山豊かな南丹で、つくる暮らしをはじめましょう

- ① 日吉町中世木地域では、約350㎡(3.5アール)(予定)ほどの田んぼで、減農薬と一緒に米を育てます。
- ② 園部町半田地域では、大きな田を1区画約50~60㎡(予定)に区切り、1人/1組が1区画を担当し、無農薬でお米を育てます。
- ①②共に、収穫したお米は作った皆さんで持ち帰ります。2年目以降は、広さやより自立度をあげて取り組むことなど、相談可能です。

①畔はどうやって作る？水はどこから？草は何回刈る？どうやったらたくさん採れる？などなど、お米を育てるための作業、工程、必要な道具や知識を地域の方から学びます。

②草を刈る範囲や水の使い方など、集落それぞれにあるルールを学びます。

③小さい田畑でも草刈りは必須！エンジン式刈払い機(主にコード式)の使い方とメンテナンスをマスターしよう！

④将来、自立して小さい田んぼをするために、農地の取得や管理など、公式なきまりについて学びます。

⑤小さい田畑でも地域の農業や作物などについての知識は大切！地域の農業について学びます。



**年間予定** ※天候や生育状況等により内容が変更になることがあります。

- 4月 種もみまき、田んぼ準備(水路掃除、電柵補修など含)、刈払い機講習会
- 5月 畔塗り、田植え
- 6月~8月 草取り、草刈り、水の管理、座学
- 9月~10月 稲刈り、稲木干し、脱穀、粃摺り
- 11月~12月 収穫祭、1年のまとめと終い仕事

### 参加費に含まれるもの

- ・ 定例日合計10回の実践型講習+自由作業日
- ・ 必要な農機具の利用※1 ・ 保険代
- ・ 田んぼの状況の定期配信 ・ 収穫したお米
- ・ 定例日以外での施設利用※2
- ・ 年間村人パスポート※3

※1 作業着、昼食はご持参ください。

※2 駐車、休憩、着替え、トイレ利用可

※3 定例日以外での援農やのんびり訪問に！ ※4 最寄り駅からの送迎はご相談ください。

- ・ 全体日程は、お問合せ/お申込みいただいた方にお知らせします。
- ・ 稲が育つ期間中は、定例日以外でもできるだけ作業にお越しく下さい。
- ・ 夏の作業と水管理の学びのために、夏の間、泊りでの定例日を1回予定しています。その際の食費、泊りの実費費用は別途ご準備ください。

この講座は、中世木中山間組合、ココペリファーム、日吉町森林組合のご協力を頂き実施しています。後援：南丹市

つむぎは、南丹市移住ガイドブック「楽しい移住」(2019年)の作成や、農×地域シンポジウムおよび当講座の開催などを通して、移住促進、担い手育成、里山環境の維持などに取り組んでいる団体です。HP <https://tsumugi-kyoto.net/>